

# 「不易流行」

よき伝統を守りながら(不易)

進歩に目を閉ざさないこと(流行)によって

「理想」を創造する

## 町をあげて難局を乗り切る

例年であれば新年度を迎え、春らしい陽気の中、入学式や様々な行事で町はにぎわい、心躍る日々を過ごしているところですが、今年は少し違います。新型コロナウイルス感染症の関係で、3月の行事がほとんど中止や延期、規模縮小されることになりました。小中学校は国からの要請を受け、臨時休校にしましたし、来賓の制限をされたため、卒業式にも出席できませんでした。明徳学園の修了式も中止、奥大山ひな祭りコレクシヨンも中止、中学校の吹奏楽部の定期演奏会も延期になりました。

この感染症はすでに世界的に流行しており、東京オリンピック開催の動向も、1年程度延期になると報道は伝えています。この原稿を書いている令和2年3月23日に、鳥取県が第10回新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催しました。その資料によると、国内に

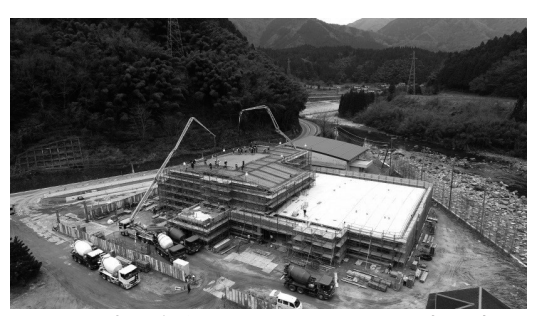
おける感染者数1,061人(40都道府県)、クルーズ船等を含めると1,814人。幸いに鳥取県では患者は発生していませんが、状況は刻々と変化しています。4月以降も動向を注視しながら、住民の生命、健康を守ることを第一に考えた対応をしていきます。日本はもちろんのこと全世界的な事案でもあり、住民の皆さんにはご不便をかけることもありますが、ご理解、ご協力をよろしくお願ひします。町をあげてこの局面を乗り切りましょう。



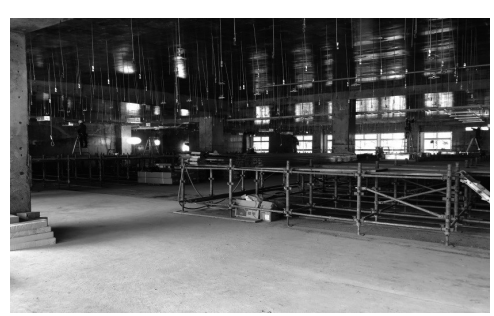
▲手指の消毒を促す案内(江府町防災・情報センター)

# 新庁舎建設工事進捗状況について

工事が始まり8カ月が経過しました。工事は事故もなく順調に進捗しており、3月初旬で躯体工事も完了し、少しずつその姿を見せてきた様子です。3月中旬以降は意匠(仕上)工事にシフトし、内部・外部とも一気に進捗が加速していく状況です。引き続き工事現場付近では多くの工事車両が往来し危険ですので、交通誘導員は配置しておりますが、町民の皆さまにおかれましても十分ご注意くださいとともに、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



▲2階部分躯体(コンクリート)工事。建物の大きさ、形が分かる様になりました。(3月初旬撮影)



▲内装工事の様子。4月以降進捗は加速していきます。



▲外部工事状況。右側は屋根工事中です。内部も建具取付、内装下地工事が急ピッチで進みだしました。(3月末撮影)